

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1976号 2009年06月22日(月)

《 adjustment period 》

先週はどの市場を見ても調整色の強い、商いも細った一週間でした。世界の主要国市場のほとんどで株は直近の高値からは反落し、商品相場も原油相場を中心に反落基調で同じ事が言えた。為替もそれまで進んでいたユーロや資源国通貨に対する円安傾向がかなり調整された週だった。

この調整は、世界経済に対する楽観的シナリオを前面に押し出してきたものの、当面ということではもう一杯のところまで来ていた、という背景がある。つまり先行きに対するユーフォリアが当面行き着くところまで行き着いた結果である。株式市場ではこのところ、それまでなら強材料とされたような材料が出て相場はそれを好感しなかった。

一方で、世界経済はどう見ても大勢としては「L」か、そうでなくても「レ」の字の右が重たい展開が予想される。中国やインドが回復の兆しを見せているにしても、それだけでは世界経済を導くことは出来ない。底入れはしても、その後の展開は今までの市場が予想したほど強いものではない。「V」は無理だ。時期的にもそうした認識に市場は再び立ち始めている。

相場を見ても、日経の1万円、原油相場の70ドル、ドル・円相場の100円がそうだが、「目一杯」だった。故に一回かなり大きな調整をしないと直ぐには再び上げに転じることが出来ないレベルに見えた。だから筆者は先週、「Enjoy the party ,but dance close to the door!」と書いた。パーティーの熱はちょっと冷めてもおかしくない段階に達していた。市場を子細に見ていた人ほど気付いていただろう。それが先週一週間の相場の動きを鈍らせ、商いを細らせて、どちらかと言えば調整色の強い、時に方向感を欠く動きに市場を導いたと言える。

今週も基本はそういう展開だろう。調整は各市場で済んだようにも、まだ済んでいないようにも見える。多分そう言うときにはまだ済んでいない。通常一度強気が消えるほどに調整しないと、次の上げのモメンタムはなかなか出てこない。為替市場の先行きも、どう見てもドルの急落はないように見えるが、一部ではFOMCでの国債買取枠増枠に注目して、「拡大ならドル信認低下によるドル安」と見る向きもある。国債買い入れに関しては逆の見方もある。買取枠を増枠すればニューヨークの株式市場にプラスで、よってドル高という見立てだ。筆者の見方は「今週のドルは対円では弱含み」という読みだ。どちらにしても動いて2円程度だろう。資源国通貨に対する円の上昇については、チャンスを見て円を売りたい向きはまだ

多いようにも見える。

材料が拮抗しているというか、動けない状況の時には市場は何か注目できるものを探すものだ。今週だったら23日のFOMCの声明文、国債買い入れに関する新たな発表、日米の債券市場の動きなどが関心を集めよう。気の早い向きには、再来週の6月分の日銀短観に関心を集める向きが出てくるかも知れない。現段階では水準は依然として低いものの、6月の短観での景況は改善するとの見方が強い。

今週の主な予定は以下の通りです。

6月22日(月曜日)	4-6月法人企業景気予測調査 4月第3次産業活動指数 5月コンビニエンスストア売上高 独5月IFO景況感指数 英下院議長選出
6月23日(火曜日)	米4月FHFA指数 米5月中古住宅販売件数 FOMC(～24日) 米2年債国債入札
6月24日(水曜日)	5月貿易収支 5月企業向けサービス価格指数 米5月耐久財受注 米5月新築住宅販売件数 OECD閣僚理事会(～25日、パリ) 米5年債国債入札
6月25日(木曜日)	米1-3月期米実質GDP(確報) 1-3月個人消費 1-3月コアPCE バーナンキFRB議長議会証言 米7年債国債入札
6月26日(金曜日)	6月消費者物価(東京都区部) 5月消費者物価(全国) 4月全産業活動指数 米5月個人所得・消費支出 米5月PCEコアデフレーター 米6月ミシガン大学消費者信頼感指数(確報) グラス連銀総裁講演

《 have a nice week 》

週末はいかがでしたでしょうか。月曜日は朝起きて一番に http://www.usopen.com/en_US/scores/index.html(全米オープンのサイト)を見ましたが、矢野選手はその段階で+4で32位タイに。随分落ちたものだと見たら、三日目相当のプレーで77を叩いている。スタートが最終組近辺で緊張したんでしょう。テレビの青木さんによれば、本人がそう言っていたそう。それでもフューリック、VJシンなど有名選手よりは上。青木や片山ほど上位で粘っていないのは経験の差か。今回は良い経験になったと思うので、日本でのプレーに役立てて欲しい。

4日目分は、上位グループは日本時間の午前8時現在まだスタートしていない。決着は日本時間の火曜日朝でしょう。いずれにせよ、会場のスペースはニューヨークに駐在したことがあるビジネスマンの中にはプレーした経験が多いゴルフ場ではないでしょうか。確かパブリックだったと思った。どのコースだったか私も回りました。それにしても、今大会はギャラリーの声がうるさい。

全米オープンもそうですが、週末は相変わらずの雨がちの天気。ブータン旅行の打ち合わせやその他小さな用事以外はあまり外にも出ませんでした。もうちょっと晴れていたら違ったかもしれないと思いました。湿度が高いのはインフルエンザ防止には役立つが、気分はあまり良くない。

ところで、イラン情勢への対処で厳しい状況に置かれているオバマ大統領ですが、依然としてワシントンではかなりの人気ようです。ワシントンの友人からその辺に関するメールが来ましたので、ちょっと長くなりますが紹介しましょう。

「オバマ大統領は依然大人気です。私の周りは共和党の人間が多いので彼の社会主義的な政策などなど疑問に思っている人も多いですが、取り敢えず就任してからの景気対策への行動が早かったことや、まだ今まで出してきた政策の効果があるかないかはまだ分からないので、大統領批判は比較的静かです。これからの問題事項といえば、大きくなりすぎている政府、グアンタナモ閉鎖や拷問公開・責任追及(安全保障問題)、ヘルスケア改革などでしょうか。いずれにしても国民の関心は景気なのでそんなにヒートアップしているようには見受けられません。安全保障問題に関してはチェイニーがかなり鼻息を荒くして抗議していますが・・・

オバマ大統領はホワイトハウスからランチを買いにハンバーガー屋に突然現れたりするんです。私の住んでいる所から近い「Ray's Hell-Burger」にバイデンと普通に来てバーガーを食べて行ったり、DCの「Five Guys」に来てテイクアウトしたり。そこに立ち会った人は大興奮ですよ。そしてその後もそのバーガー屋さんはとても流行る。私も「Ray's Hell-Burger」に行ってきましたが、午後3時ごろとお昼時でないにもかかわらず30分~1時間街の長蛇の列でした。結構美味しかったです。ミニ経済刺激対策になっているようで、大歓迎されています。

あとはそうですね～日本大使館の人も懸念していることですが、日本は存在感がない
というか、忘れられそうな感じです。みんなの目はやっぱり中国・インドに向いている
のが事実です。日本に関する勉強をする（いわゆる知日派・親日派）も激減しているよ
うですし、ニュースを見ていてもほとんど取り上げられることがない。中川さんのG7後
の会見みたいなものは直ぐに出るんですけどね。人気のあるコメディショーでも大
きく扱われていました。あとアニメは本当に人気がある。ちょっと気持ち悪いぐらい。
DCのさくらまつりでも外人のコスプレくん達が沢山歩いているし、本屋にも漫画コー
ナーが普通にあるし。なんかこんなんでいいのかな～と私なんかは思ってしまうので
すが・・・

あとこちらにはケーブルにFood Networkという人気チャンネルがあって、
そこで日本食がよく紹介されたりすることから、随分日本食が10数年前に比べて浸透し
た感じです。今や普通のスーパーだったらどこでもお寿司のお持ち帰りがあるし（これ
が結構食べられる）インターナショナルコーナーで醤油、ごま油、インスタント味噌汁、
みりんなどなど普通においてあります。旨味、みりん、パン粉はそのまま英語になって
いて、UMAMI, MIRIN, PANKO bread crumb と言ってます。TSUNAMIと同じです。」

ははは、ワシントンの雰囲気分かって面白い。それでは皆さんには良い一週間を。

*《当「ニュース」は住信基礎研究所首席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記
したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情
報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成
時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたもの
ではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》*